教科名	国語	科目	国語	週授業時間	３時間

１．教科書

教科書：「新しい国語３」（東京書籍）

副教材：「教科書準拠ワーク　よくわかる国語の学習３〔東京書籍版〕」（明治図書）

：「新編　新しい国語　新出漢字の学習３」（東京書籍）

：「夏期テキストＡ　国語３年」（教育開発出版）

：「国語便覧　千葉県版」（浜島書店）　※１年次に配布済

２．授業の目標および内容

「読む」言語活動を総合的に行うことによって、国語の能力を高めるとともに、より豊かな人格形成を目指します。

３．試験について

	１学期		２学期		３学期
定期試験	一次　５月	二次　７月	一次　10 月	二次１２月	期末　３月

内容・難易度について

〇定期試験：教科書・プリントなどの授業範囲内で、問題を作成します。

「国語」＋「国語演習」合わせて 100 点満点で作成します。

（それぞれの配点は取り扱った範囲により変動します。）

４．課題・補習について

夏期休業中の課題は、作文・問題集などの予定です。

試験等で理解が著しく進んでいない者に対し、補習を実施することがあります。

５．評価の視点

宿題やノート提出、小テストなどを参考に平常点を加点または減点して評価をします。

授業計画

学期	単　　元	学　習　内　容	備　考
1	二つのアザミ	全体の構成を確認しながら、筆者の考え方を読み取る。また、タイトルにある「二つ」という言葉にも気をつけながら、表現上の工夫とその効果を確認する。	教科書に出てくる漢字を範囲に小テストを行う。
	俳句の読み方、味わい方	俳句について基本的なことを学び、鑑賞の仕方を理解する。	
	俳句五句	より多くの俳句に触れて、鑑賞の仕方を学ぶ。	
	形	テーマである「形」に着目しながら、作品を理解します。また、原典との比較を通して作品の工夫や魅力を捉えることで、批評的なものの見方を養う。	

	百科事典少女	登場人物の特徴をつかみながら、場面ごとの人物の心情を捉えます。また、表現の仕方に着目し、その効果について考えます。	
2	絶滅の意味 幸福について 古典 万葉・古今・新古今 おくのほそ道 論語	論理の展開の仕方を捉え、文章の内容を読み取り、地球環境との関わり方について考える。 「幸せとは何か」ということと「どうすれば幸せになれるのか」の文章を読んで自分の考えを持ち、議論の仕方を捉え、吟味していく。 古典における「和歌」の重要性を理解し、和歌独特の旋律の美しさを学習する。 松尾芭蕉の紀行文を味わう。江戸文学に慣れ親しみ、俳句の面白さを理解できるように学ぶ。 漢文の基礎的な知識を身につけるだけではなく、古人の言葉を読み味わう。漢文読解の基礎も勉強する。	教科書に出てくる漢字を範囲に小テストを行う。
3	故郷 いつものように新聞が届いた 詩 初恋 レモン哀歌	場面によって変化する人間関係や、心情を読み取る力を身に付ける。また、社会構造が人間に与える影響について学習し、社会の中で生きることについて考えを深める。 情報の意義とメディアの役割について考えを深める。３・１１の震災を記憶にとどめ、未来の社会につなげるにはどうしたら良いのか考える。 恋愛という生徒に身近なテーマを扱うことで、慣れない文語詩の表現に親しむ。 効果的な言葉の使い方に注意して詩を読み、詩に描かれた生と死について考え、自分なりの感想を持つ。	教科書に出てくる漢字を範囲に小テストを行う。